

(5) 施設を守る

水源や水道を守るために、水道局ではどのような仕事をしているのでしょうか。

● 水源を地震から守る

水源を地震から守るために、ふだんから施設の点検、整備をしています。

また、ダム^{ていぼう}の堤防に土を盛って強くする堤防の強化^{きょうか}工事^{こうじ}も行っています。

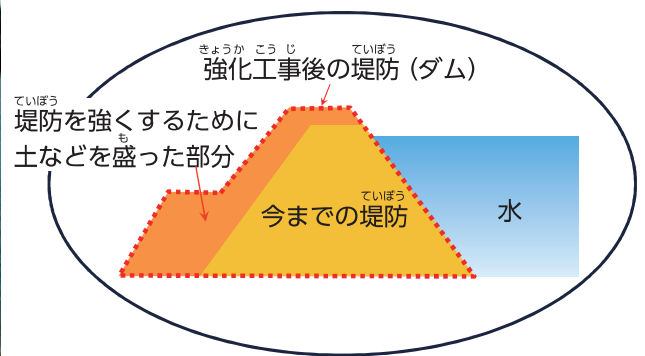


▲東京都の水がめ 小河内ダム (貯水池)



▲堤防の強化工事をした村山下貯水池 (多摩湖)

堤防の強化イメージ図 (村山下貯水池)



まわりが
静かな夜中に
調べるんだね。



● ろう水 (水もれ) を防ぐ

水道局の人の話



道路の下にある水道管の水がもれる音を聞いて、ろう水を見つけます。ろう水を見つけたときは、すぐに修理^{しゅうり}します。また、ろう水が起こりにくいように、新しいじょうぶな水道管^{かん}に取り替え、みなさんにおいしい水をかくじつに届けています。

◇ろう水…水道管^{かん}などから水がもれてしまうこと。



▲夜間のろう水調査

●地震に強い水道管に取りかえる

古くなった水道管は、地震にも強い材質のものに取りかえています。そのときに、管の継手の部分が外れないものを使います。

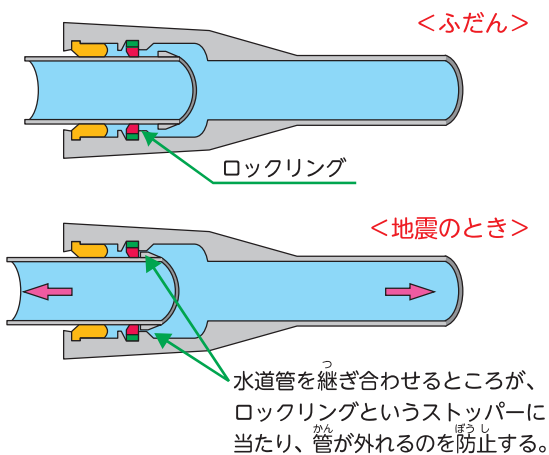
東京都では、平成 31 (2019) 年 3 月 31 日現在、約 44% が継手が外れないものになっています。

◇継手…つなぎめ



▲水道管取りかえ工事

外れ防止機能がついた継手の仕組み



水道管を継ぎ合わせるところが、ロックリングというストッパーに当たり、管が外れるのを防止する。



▲継手に外れ防止機能がついた水道管

強い材質の水道管に外れ防止機能がついているため、何本もつないで吊り上げても、途中から折れたり外れたりしません。

●技術を引き継いでいく

水道局の人の話



水をとどけるための施設を守るには、水道に関する高い技術が必要です。経験豊富な人が先生となり、新しく来た人にその高い技術を教えています。



▲水道管をつなぎ合わせる作業の訓練

(水道局研修・開発センター、世田谷区)